

助け合い起こしの環境づくり

(住民参加による福祉活動 ～愛の輪推進員運動とは～)

いま、福祉と聞けば専門機関によるプロのサービスととらえがちですが、プロの手が入ると住民はそれに反比例するかのごとく助け合いをすることが少なくなるといった状況が生まれています。住み慣れた家や地域で安心して暮らすためには「住民の助け合い」が不可欠です。

NHKの番組に地域の問題を住民が主体となり解決している姿を紹介する「難問解決 ご近所の底力」という番組があります。地域の助け合いが盛んになっていくためには、ふれあいの機会を多く作り、世話焼きさんが、陰口をたたかれることなく、堂々と援助ができたり、援助を必要としている人が、遠慮することなく助けを求められるような助け合いの文化づくりや環境づくりが必要です。

住民の助け合い活動の一つとして、岩美町では、地域ぐるみの福祉活動の推進を図るため、地域住民の参加による一人暮らし高齢者等への愛の一声運動を中心とした、支え合い・見守り活動である【愛の輪推進員運動】を岩美町社会福祉協議会が中心となり取り組みを行っています。

この運動を通して、要支援者の孤独感・不安感の解消や地域の福祉課題の早期発見・早期対応、福祉サービスの利用につながることは、もちろんのこと、住民自身が自分たちの地域の様子を理解し、一人ひとりが幸せに暮らしていけるよう、支え合って生きていく「助け合い起こしの環境づくり」が展開できるようになります。



愛の輪推進員運動Q&A

Q 見守り活動とは？

A 対象者の方の見守り活動を行うため、愛の輪推進員を設置し、話し相手等になるなど、呼びかけを行い、日常生活における安否確認を行っていただいております。



Q 対象となる方々は？

A 町内在住者で、70歳以上の一人暮らしの高齢者または、高齢者夫婦世帯で日常生活に不安を抱える方々です。
ただし、70歳未満であっても特に支援が必要と思われる方は対象とします。
現在、町内で対象者は、約230名おられます。

Q 愛の輪推進員運動とは？

A 一人暮らしの高齢者等への声かけをするなど、細やかに見守り活動を行い、民生児童委員と連携を密にして地域で安心して暮らすことができるよう支援していく運動です。

この運動をより充実させ、住民を中心とした『見守り活動』のネットワーク化をすすめ、お互いに情報交換を行うことで、支援体制の充実強化を図り、問題の早期発見に努めます!!
町民の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。